

8/
22

津島道路で見学会 建設機械の操作などを体験
柏小児童らが工事現場を見学



愛媛CATV
動画



工事現場見学会に参加した柏小児童の皆さん

建設が進む国道56号津島道路（柏～岩松 延長10.3km）の工事現場見学会が柏であり、柏小学校の3年生～6年生21人や地域住民らが参加し、普段は立ち入ることができない現場を見学しました。

この取り組みは、道路整備の役割を学び、建設機械の操作体験などを通じて建設産業への関心を高めてもらおうと大洲河川国道事務所と南予の建設会社が主催したもので、始めに同事務所の黒田美裕建設監督官が工事の概要を説明しました。

その後、児童らは3班に分かれて、バックホウ（ショベルカー）の操作やドローンでの空撮映像の撮影などを体験し、笑顔を見せていました。

建設作業員のサポートを受けてバックホウの操作を行った柏小3年の小笠原穂香さんは、「土をすくうことができて良かった。難しかったけど上手にできた」と話しました。



移動式クレーンの操作体験



バックホウの操作体験

8/
22

南宇和高校でGAP（農業生産工程管理）学習会



愛媛CATV
動画



講義を熱心に聴く南宇和高校と北宇和高校の生徒の皆さん

南宇和高校視聴覚室でGAP（農業生産工程管理）認証取得に向けた学習会が行われ、同校と北宇和高校の生徒20人が受講しました。

八幡浜市で農業生産法人を経営している講師の宮本泰邦さんは、GAPの具体的な実践内容など実体験を交えて説明し、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

南高2年生の野村祐介さんは、「今回の講演で道具の管理などが大事で、これからどうしていくべきか知れて良かった」と話しました。

8/
23

戦没者追悼式で平和への誓いを新たに



御荘文化センターで行われた戦没者追悼式の様子

御荘文化センターで愛南町戦没者追悼式が行われ、遺族ら約150人が参列して黙とうと献花を行い、犠牲者の冥福を祈り平和への誓いを新たにしました。

式典では愛南町遺族会長が、「私たちが当たり前のように享受している平和と繁栄は、英霊の尊い犠牲が礎になっっていることを忘れてはいけません」と追悼の言葉を述べ、戦争の悲惨さ、平和の大切さを次の世代に伝えていくことを誓いました。

8/25 大規模災害に備えて地域住民と防災関係機関が連携
一本松地域などで総合防災訓練を実施



愛媛CATV
動画



消火器を使った消火訓練



倒壊建物からの負傷者救出訓練

南海トラフ地震等による大規模災害に備え、地域住民と防災関係機関が協力して総合的かつ実践的な防災訓練を実施することで、相互の連携強化や安全・安心な地域づくりを目指そうと、一本松・東海地域で愛南町総合防災訓練が行われました。

訓練は、愛南町で震度6強の地震が発生し、宇和海沿岸に大津波警報が発表されたとの想定で行われました。

訓練会場となった一本松小学校グラウンドでは、地震発生の報を受けて自身の身を守るシェイクアウトから訓練が開始され、一本松小中学校の児童・生徒や保護者らが参加した避難訓練、中学生による消火器を使った消火訓練、地元消防団による倒壊建物からの負傷者救出訓練などが実施されました。また、満倉・東海地域では津波一時避難場所への避難訓練が実施されました。

訓練に参加した一本松中1年の宮本莉緒さんは、「消火器のレバーを握る際に思った以上に力がいった。以前に水で消火訓練を行ったときよりも難しかった」と話し、一本松方面隊第1分団の溝垣克敏分団長は、「大きな地震が起きたら倒壊建物も発生すると思うので、迅速に救助できるようにこういった訓練を継続していきたい」と話しました。

8/27 電気使用安全月間に合わせて
電気工事組合が高齢者宅の電気安全点検



愛媛CATV
動画



家庭内の配電盤の確認作業を行う南宇和電気工事組合の岩村真典理事長

8月の電気使用安全月間に合わせて、南宇和電気工事組合による町内高齢者宅の電気安全点検が行われました。

この日は組合員7人と四国電力・四国電気保安協会の職員が参加し、2班に分かれて岩水地区と緑地区の一人暮らしの高齢者宅を計10軒訪問し、点検を行いました。

配電盤の漏電の有無や、電気ケーブルの劣化状況などを確認した(有)坂本電工の坂本剛さんは、「火事になってからでは遅いので、未然に防げたらと思って実施している。これを機に家庭でも漏電などに注意していただけたら」と話しました。

南宇和電気工事組合

理事長：岩村真典 副理事長：松田寛幸

【組合員(加盟事業者)】

- (株)岩村電気水道 マツダ電化
- (有)永井電器店 メンテナンスサービス山口
- (有)山下電機商会 (株)愛南設備 後藤電器
- (有)坂本電工 田村電気工事店 中山電気
- (株)プログレス 南宇和ガス燃料(株)



後列左から古川さん、山下さん、松田さん、山口さん、永井さん
中山さん
前列左から吉良さん、岩村さん、坂本さん、田村さん

8/
27

第12回全国商い甲子園 南宇和高校が商い甲子園2連覇



愛媛CATV
動画



最優秀賞を受賞した地域振興部の皆さん

- 後列左から 大元麻由さん(1年生)、小林千桜さん(1年生)
田中綸さん(2年生)、岩崎夏海さん(2年生)
土居萌々果さん(2年生)
- 前列左から 田中さささん(3年生)、円山サラさん(3年生)
中川彩音さん(1年生)、笛木九豊さん(1年生)
橋本弦さん(3年生)



全国商い甲子園2連覇の取材を受ける部員たち

高校生が商売の腕を競う「第12回全国商い甲子園」が8月17日(土)に高知県安芸市本町商店街で行われ、10校18チーム約140人が参加し、南宇和高校の地域振興部が2連覇を達成しました。

商い甲子園は、地元の特色を生かした商品や高校生が自ら発案した商品などを売り込み、接客や陳列の仕方、購買意欲を高める演出で競い合います。

その中でも、愛南ゴールドのジュースや甘口しょうゆを使ったジェラートなど5品目を販売し、購買意欲を誘う陳列やしっかりした商品説明、笑顔での接客が評価され、最優秀賞(岩崎弥太郎賞)を受賞しました。

商い甲子園に参加した2年生の土居萌々果さんは「お客さんへのあいさつや会計の時のゲームなどが上手にできてよかった。来年は商品を増やしてがんばりたい」と話し、同じく2年生で初参加の岩崎夏海さんは「停電やトラブルが起きたときは焦ってしまいましたが、みんなで協力して対応できてよかった。次も最優秀賞を取れるようにがんばりたい」と感想を述べました。

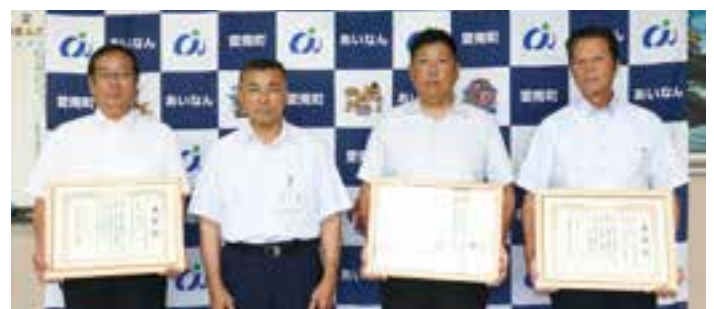
8/
27

町の公共工事の品質確保へ 優良3工事を表彰

役場本庁で第2回愛南町優良工事表彰式が行われました。

この表彰制度は、町が発注する建設工事における優れた工事を表彰し、建設業者の意欲向上や技術者の育成を図り、公共工事の品質を確保することを目的としています。

今回は、対象工事62件の中から選ばれた3つの工事が表彰されました。羽田建設(株)代表取締役の羽田保恵さんは、「今回、賞をいただくことができたのは町の皆さんのおかげです。引き続き皆さんから信頼される工事が行えるようにがんばりますので、ご指導等よろしくお願ひします」と感想を述べました。



左から黒川洋吾さん、清水雅文町長、小田原大造さん、羽田保恵さん

【表彰された工事】

工事名：H29船越漁港海岸保全施設整備工事
(業者名：株式会社酒井組 工事箇所：弓立)

工事名：町道日土小屋ノ浦線外舗装補修工事
(業者名：株式会社愛亀 工事箇所：久良)

工事名：林道太田八人組線開設工事
(業者名：株式会社羽田建設 工事箇所：正木)

9/2 愛南町の水産養殖技術習得へ
シリア人技術者 2 名が町内で研修



愛媛CATV
動画



左から寺井充通訳、清水雅文町長、ヤッサール・サケル研修員、ハビブ・アッバス研修員、岡本一研修コーディネーター

長期化する紛争により難民の増加や貧困層の拡大などが社会問題となっているシリア（シリア・アラブ共和国）の食料事情を改善しようと、国際連合食糧農業機関（FAO）シリア事務所が愛南町にシリア人技術者ヤッサール・サケル研修員、ハビブ・アッバス研修員を派遣し、町内で水産養殖技術習得のための研修を行いました。シリアと愛南町をつなぐきっかけとなったのは、町で活動する地域おこし協力隊の林大地さんのフェイスブックで、その水産業の情報を見た関係者から連絡が入り、話が進みました。

シリアでは現在、食糧安全保障の観点からヨーロッパへダイやヨーロッパスズキの養殖を進めており、さらなる技術向上を図り安定供給につなげるため、技術者が来町して愛媛大学南予水産研究センターの視察を行い、町内の真鯛やスズキの養殖業者のもとで研修を受けました。

9月2日(月)にはシリア人技術者を含む関係者4人が役場町長室を訪れ、清水雅文町長に今回の研修の目的やシリアにおける水産業の現状などについて説明しました。両国をつなぐ架け橋となった林さんは、「シリア人技術者を受け入れることで町内の水産養殖業者の刺激になればという思いと、この取り組みが国際協力につながれば」と話しました。



町長室で説明を行うシリアの関係者

9/2 カットボランティアで社会貢献
理容美容組合が老人福祉施設を訪問（※今年は9/2(月)と9/9(月)の2回に分けて実施）



自在園でカットを行う組合員と、笑顔を見せる入所者

南宇和理容美容組合の有志が町内の老人福祉施設（6施設）を訪問し、利用者の髪を切るカットボランティアを行いました。この取り組みは、仕事を通じて社会貢献したいとの思いから同組合により、30年以上続けられています。

特別養護老人ホーム自在園では、8人の理容師・美容師が参加し、1時間以上かけて42人の髪を切り、利用者の皆さんを笑顔にしていました。

以前から活動に参加している美容師の岩井安美さんは、「今年もボランティアに参加できてよかった。来年も待ってくださっている方々がいるのでがんばりたい」と話し、入所者の入江緑さん（98歳）は「今年もきれいにカットしてもらって最高です。来年も髪を切ってもらいたい」と話しました。

南宇和理容美容組合（今年のカットボランティア参加者）

代表：吉村則男

【参加者】

円城寺正敏 久徳耕一 本多計章 立石和子 大西加代子 岩井安美 武内雅美 吉田浩史
幸田達人 菊池高幸 瀧口賢一 立花昌美 稲田りえ 谷口ヒロ子 鎌田順子 山本淳子
高橋祐樹 山本一成 中田沙知子 宮本節子 末弘信乃 宇都宮悦 宇都宮典子 清家真紀

9/
5~10

愛南町で学んだことを 大学生が地域の人たちにプレゼンテーション



愛媛CATV
動画



甲南大学マネジメント創造学部の皆さん

後列左から

石川萌さん（4回生）、山本幸奈さん（1回生）
平松菜月さん（1回生）、青木穂乃実さん（1回生）
杉山聖乃さん（2回生）、隅田啓資さん（1回生）

前列左から

望月美里さん（1回生）、中田帆香さん（1回生）
西瑞樹さん（1回生）、宮下真奈さん（2年生）
森川芽衣さん（2回生）、佐藤治正教授

甲南大学マネジメント創造学部の学生11人と教授が観光業や地産地消などについて学ぶため愛南町を訪れました。

この取り組みは、事前学習で考えた愛南町の特産品の活用や地域おこしのイベントなどが実践できるものなのか、また実際に行った時の問題点や改善策について、現地をフィールドワークしながら、学んだことを地域の方にプレゼンテーションするというもので、緑地区で活動する地域作り団体「まると緑」の協力により昨年実施されています。

最終日には、フィールドワークで体験したことや地域の人たちと接したこと、愛南町の特産品を考慮しながら、事前学習で考えた特産品の活用や地域おこしのイベントなどを改良し、地域の方に提言しました。

同大2回生の森川芽衣さんは、「今回の体験を上手にプレゼンできなかったのが残念です。来年も機会があるなら、今度は上手に愛南町の良さを伝えたい」と感想を述べました。

9/ 6 食事を楽しみながら地域で交流 おいでな～し菊川

旧菊川小学校1階の菊川交流館で、おいでな～し菊川（丸田カツミ代表）によるモーニング・ランチの提供（有料）が行われています。

4月1日に愛南町社会福祉協議会本所が旧菊川小に移転し、菊川地区で民生児童委員などを務めている丸田さんに、「菊川地区を盛り上げる活動ができないだろうか」と社協から打診したことがきっかけで、6月からこの取り組みが開始されました。

「食事で事業をしたら地域内外から人を呼べる。大変だが1カ月やってみよう」と考えた丸田さん。評判は上々で、取材日にも次々にお客さんが訪れて談笑しながら食事を楽しんでいました。丸田さんは、「美味しいと喜んでもらえるのがやりがい。評判も良いので続けていきたい」と話しました。



後列左から藤村千鶴さん、西川しげ子さん、山平輝代さん
前列左から宮下照さん、丸田カツミさん、尾崎通子さん

■おいでな～し菊川によるモーニング・ランチの提供

開催日時：毎週金曜日の9:00～13:00

（第4金曜日は11:00～14:00でモーニングなし）

モーニング 9:00～11:00 300円

ランチ 11:00～13:00 500円

※10月からは第4金曜日に11:00～14:00までバイキング（700円）を実施します。

※菊川地区在住でない方もご利用いただけます。

※10月も毎週金曜日に実施予定です。

問：愛南町社会福祉協議会 電話：73-7777

9/7 小学生の部・一般の部・宮相撲 緑地区で伝統の八朔相撲



愛媛CATV
動画



白熱した取組が続いた宮相撲

緑ふれあい広場土俵で緑八朔相撲があり、午後2時から小学生の部(団体・個人)、午後6時から一般の部(団体)が行われ、一般の部終了後に宮相撲(個人)が実施されました。

緑八朔相撲のはっきりした起源は分かっていませんが、八朔は旧暦8月1日を指し、その日に合わせて昔から緑地区の弓削神社境内で相撲が取られていたそうです。その後、緑小学校相撲場を経て現在の場所で実施されるようになりました。

小学1年生の部で優勝した緑スポーツ少年団の門田陸暖さん(緑小)は、「優勝できて嬉しい。相撲は押すところが楽しい」と感想を述べました。

★緑八朔相撲について

緑地区在住の松田昌治さんは、「稲を害虫から守るために夜通し火をたいて、朝まで相撲を取っていたという話を聞いたことがある」と話しており、豊作祈願のための奉納相撲ではないかと考えられています。

宮相撲では三番勝、五番勝など所定の回数を連勝した力士に賞を与える取組や、勝利を収めた力士に対して土俵際から次々と力士が飛び出して勝負を挑む飛付五番勝という取組などがあります。

最後の三役相撲では、当日に決定する東西の小結、関脇、大関が取組を行いますが、大関の取組が始まった瞬間に全ての力士が土俵に上がり両者を止め、行司がその取組を勸進元預かりにして来年に持ち越すことを宣言します。これについて松田さんは、「勝負を決めないことで、また来年も来てくださいという意味があるのでは」と説明していました。

9/10 地場産業の発展と地区の安心安全を願って 柏崎地区で漁止め祭



今年の当たりくじを引き当てた
左から橋村浅男さん(龍王神社)、寺岡孝吉さん(岩神社)、佐々木昭さん(由良神社)

柏崎地区で漁止め祭が行われました。今から200年以上前の旧暦8月12日、柏崎地区のカツオー本釣り船が由良岬沖で漁をしていたところ、鯨の大群が現れて大波が起き、船が転覆しそうになったため、乗り組んでいた漁師たちが地区の氏神様である岩神社に「今後8月12日には絶対に漁に出ないので助けてほしい」と願を掛けたところ鯨が去って波が収まり、全員が無事に帰ることができたという話が伝えられています。そのため、現在でも漁止め祭の日には柏崎地区の漁師や養殖業者は海に出て仕事をしないことにしています。

この日はまず岩神社で神事があり、柏崎地区の自治会役員など22人が参加しました。その後、みこしを担いで由良神社、龍王神社の順に詣で、漁協横の広場に帰り餅まきが行われました。その場で漁船所有者によるくじ引きが行われ、当たりくじを引いた3人に各神社の名前が書かれた旗と御酒が渡され、取り決めに従いその旗を船主に付けて漁船パレードの先頭に立ちました。

柏崎地区で自治会長を務める増元久男さんは漁止め祭について、「人口減少が進み伝統が失われつつある中で、古き良きものとして自治会で引き継いでいきたい」と話しました。



柏崎地区内を練り歩いたみこし

9/20

危機管理専門官に 二場健児さん着任

危機管理専門官として、消防本部防災対策課に二場健児さんが着任しました。

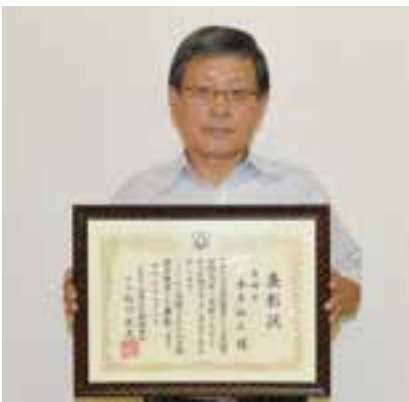
二場さんは今治市で9年間、各地での講演を通して自主防災組織の育成や運営に携わり、昨年7月の豪雨災害時には、災害対策本部において、確かなアドバイスやスムーズな自衛隊派遣の要請を行い、人命救助に尽力しました。

二場さんは、「愛南町の危機管理について再認識してもらい、防災について深く考えていただけるようにしたい」と抱負を述べました。



清水雅文町長(左)と二場健児さん

本多祐三さん 優良職員表彰を受賞



全国公民館連合会から優良職員表彰を受賞した本多祐三さん

9月5日(木)に徳島市で開かれた「第41回全国公民館研究集会徳島県大会」において、久良公民館長の本多祐三さんが全国公民館連合会から優良職員表彰を受賞しました。

この表彰は、公民館職員として公民館の振興発展に貢献した方に対し授与されるもので、今回は中四国ブロックで5人のみが受賞しました。受賞について本多さんは、「過大な表彰をいただいて恐縮している」と感想を述べました。

平成20年度から久良公民館長を務めてきた本多さんは、久良公民館での事業推進について、「消防職員を務めていた経験を活かして、自主防災組織のバックアップなど防災対策の推進を公民館事業の一つの柱としている。過疎高齢化が進み公民館活動の維持が徐々に難しくなっているが、これからも何とかがんばりたい」と話しました。



愛媛CATV
動画

7月末に着任したALTのダスティン先生をご紹介します！



ダスティン スチュワート グッドウィン
Dustin Stewart Goodwin

29歳 アメリカ合衆国ミズーリ州セントルイス出身
趣味：読書、散歩、食事、サイクリング
休日の過ごし方：旅行、ドライブ、買い物
好きなスポーツ：野球（自身のポジションは投手！）
好きな食べ物（日本）：刺し身
好きな食べ物（母国）：メキシコ料理

町の新たなALT(外国語指導助手)として7月末にダスティン先生が着任しました。普段は城辺中に在席し、緑小、僧都小、久良小の計4校を受け持ち、週に5日間小中学生に英語を教えています。

ダスティン先生はこれまでに何度か来日した経験をお持ちですが、日本で生活するのは初めてだそうです。暮らしてみた愛南町の印象について、「食べ物がおいしく、景色がとても美しい」と話し、気に入った様子でした。また、自身の出身地と愛南町の違いについては、「セントルイスはフラットな土地が広がる大都市で、海や山がないので愛南町とは正反対」と指摘し、「海や山が大好きなので愛南町での生活を楽しんでいる。これまでに皆さんにとっても親切にもらった。この町でたくさんの友達を作りたい」と笑顔を見せていました。